栃木県立栃木高等学校　校長室通信

「栃高の日」新聞　第13号

発行者：校長　大橋芳樹　　発行日：平成29年４月17日（月）

本年度も「とことんチャレンジ」だ！

１学期の始業式にも話をしたように、私が昨年４月に栃高校長に赴任した時に始めた「チャレンジ」をキーワードとした取組を継続し、さらに浸透させていきたいと考えています。生徒諸君には、自分でも気が付いていないような多くの才能が埋もれています。自分で蓋をしてしまったり、壁を設けてしまって、埋もれたままにしておくのは、大変にもったいないことです。いつも話しているように、自分の苦手なことや嫌いなことにも積極的に「チャレンジ」することを通して、自分の中に埋もれている才能を発掘し、磨きをかけてください。

①「毎月17日は『栃高の日』」

栃高の「とち」の読みにちなみ、「と」は「とお」で「十」、「ち」は中国語の「チー」で「七」ということで、毎月17日を『栃高の日』としました。

②「『栃高の日』は『とことんチャレンジ』」

①と同様に、栃高の「とち」の読みにちなみ、「と」は「とことん」、「ち」は「チャレンジ」ということで、『栃高の日』をその日にある様々なことから１つ選んで『とことんチャレンジ』する日としました。部活動でも、授業でも、試験でも、趣味の手品でも、特技の英会話でも、何でも結構です。とことんやってみましょう。また、1日の終わりに自己評価をしよう。

③「生徒諸君！チャレンジしてますか！」

昨年度と同様、生徒諸君の前で話をするときの初めの合言葉とします。１年生諸君も、早く慣れて大きな声で「オー！」などと返してください。校長と生徒諸君が交わすあいさつだと考えてください。

④校長のチャレンジとして『栃高の日』に「校長室通信　『栃高の日』新聞」を発行

毎月17日の『栃高の日』の校長のチャレンジとして、この「校長室通信　『栃高の日』新聞」を発行します。生徒諸君の活躍の様子や校長の考えや思いなどを発信していきます。必ず家に持ち帰り保護者の方にも読んでもらってください。また、本校のホームページにも掲載し、栃高のPRにも利用しています。

＊＊4月生まれの「偉人・著名人の名言」＊＊

＜チャールズ・チャップリン＞

（1889年4月16日～1977年12月25日（88歳））

愛称はチャーリー。世界の三大喜劇王の一人。1889年、英国ロンドンに生まれる。その後、両親が離婚。父が死去し、母は精神に異常をきたし施設に収容される。４歳違いの異父兄と孤児院を転々としながら、床屋、印刷工、ガラス職人、新聞の売り子、パントマイム劇などの職に就き、家計を支えた。1908年、名門劇団に入団。1913年のアメリカ巡業の際に、映画プロデューサーの目にとまり、コメディ専門のスタジオに入社。1914年に映画デビューし、人気者に。第二次世界大戦後、東側諸国との冷戦が始まった米国でチャップリンの作風が共産主義に理解を示していると非難される。1952年、国外追放となり、スイスに移り住み幸せな晩年を送る。

最初から多くのことを成し遂げようとして
極端な努力をすると、
たちまちのうちに全てを放棄することになる。

下を向いていたら、
虹を見つけることはできないよ。

人生は恐れなければ、
とても素晴らしいものなんだよ。

人生に必要なもの。
それは勇気と想像力、
そして少しのお金だ。

アイデアというものは、
それを一心に求めてさえいれば
必ず生まれてくる。

私の最高傑作は
次回作だ。

※人生のどん底を知っているチャップリンの言葉が身に染みる。

栃高の2017年度大学入試合格状況

「『栃高の日』新聞　第12号」で国公立大学前期試験終了時での本校の大学合格状況についてお知らせしましたが、2017年度大学入試の結果がまとまりましたのでお知らせします。

まず、国公立大学の合格者数の状況です。京都大の合格者はいなかったものの、東京大６名（現役３名＋浪人３名）、東工大２名、一橋大３名、北海道大３名、東北大10名、名古屋大１名、大阪大１名、九州大１名と難関国立大学の合格者数は例年になく素晴らしい結果となりました。また、自治医大を含めた国公立大学医学部医学科合格者は２名でした。国立大学131名、公立大学13名、国公立大学合計144名となりました。

次に、私立大学の合格者数の状況です。早稲田大10名、慶応大11名、上智大５名、国際基督教大２名などと、難関私立大学の合格者数もそこそこの数字を出しました。しかし、私立大学合計では409名となり、この数字は、2016年度入試から実施されている「私立大学定員超過厳格化」のあおりを受けて、２年連続でかなり減少しました。

裏面に、2017年度入試で東京大に１名以上の合格者を出した関東１都６県の国立を除く公立高校等の難関国立10大学と難関私立３大学の合格者数についてまとめたものを示しました。これを見ると、難関国立10大学と難関私立３大学の合格者数において栃高を大きくしのぐ高校等が多く存在することが分かります。栃高生の潜在能力を考えると、難関国立10大学合格者数において、現浪併せた人数で、東京大・京都大合計10名以上合格、東工大・一橋大ともに複数名合格、東北大20名以上合格、総計40名以上合格、国公立大医学部医学科５名以上合格、難関私立３大学合格者数において、現浪併せた人数で、40名以上合格が可能であると思っています。先輩が残してくれた進学実績を乗り越えられるように、さらなる高みを目指し、大いにチャレンジしてください。「やってやれないことはない！やれずにできるわけがない！」の精神で頑張りましょう。

＊＊数にまつわる話し①＜友愛数＞＊＊

私の好きな映画に『博士の愛した数式』という映画があります。寺尾聰が演じる80分しか記憶が持たない元数学者「博士」と深津絵里が演じる家政婦「私」との心の触れ合いを描いたちょっと不思議な映画です。その中に、「友愛数」の話しが出てきます。「私」の誕生日である2月20日（220）と、博士が大学時代に超越数論に関する論文で学長賞を獲った時に貰った腕時計の文字盤の裏の番号No.284（284）が「友愛数」の関係にあります。「友愛数」とは「異なる２つの自然数の組で、自分自身を除いた約数の和が、互いに他方と等しくなるような数」をいいます。

実際に考えてみましょう。220の約数は｛1,2,4,5,10,11,20,22,44,55,110,220｝となります。また、284の約数は｛1,2,4,71,142,284｝となります。220の約数の220を除く約数の和は1+2+4+5+10+11+20+22+44+55+110=284、284の約数の284を除く約数の和は1+2+4+71+142=220となり、それぞれが他方の約数の和に等しくなり、220と284は１組の「友愛数」ということになります。

「友愛数」の組を小さい順に列記してみると、(220, 284)、(1184, 1210)、(2620, 2924)、(5020, 5564)、(6232, 6368)、(10744, 10856)、(12285, 14595)、(17296, 18416)、(63020, 76084)、(66928, 66992)…となるそうです。220と284以外の「友愛数」についても、ぜひ検証してみてください。ちなみに、「友愛数」は英語で“amicable numbers”といいます。

「栃高の日」は「とことんチャレンジ」

４月の「栃高の日」は、私は
【　　】
にチャレンジします！

＊【　　】の中に自分で選んだものを書き入れよう！

チャレンジ満足度［ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ］

＊一日を振り返って、チャレンジ満足度を５段階で自己評価しよう！